

令和 8 年度当初予算案の概要

令和 8 年 2 月 1 7 日

1 予算編成の基本姿勢

- (1) 今月 8 日の衆議院議員総選挙により国民の審判を受け、わが国は新たな時代へ更なる一步を踏み出した。しかしながら、世界では大国主義の台頭と併せ国際紛争が深刻化する中、国際協調の形骸化や貿易秩序の混乱等が懸念され、国内においても、長引く物価高、東京一極集中、人口減少や少子高齢化などの課題が山積し、1 月 6 日に発生した島根県東部を震源とする震災対策も含め、県民一丸となって乗り越えていくことが待ったなしである。
- (2) 令和 8 年度地方財政対策においては、前年度を上回る地方一般財源総額の確保が図られ、税収増を見込み、臨時財政対策債の新規発行額がゼロとなるなど、地方財政の健全化が図られることとなったが、本県においては、物価高に加え社会保障関係費や人件費、教育無償化に係る負担増等で歳出増大圧力が高まる一方、大都市部のような税収増は見込み難く、厳しい予算編成を迫られることとなった。
- (3) こうした中にあっても、本県と県民の未来を切り拓くため、一人ひとりが輝く活力と安心のふるさと鳥取県を目指して積極的にチャレンジすることとし、若者や女性に選ばれるふるさとの創造や、防災力の向上、子育て王国とっとりなどに果敢に乗り出し、財政調整型基金や前年度繰越金などの様々な財源も含めてやり繰りしつつ、平成 1 7 年度以降最大となる総額 3, 9 6 1 億円 の予算を編成した。(前年度対比 8. 5 %増)
- (4) なお、これまでの 1 9 年間、積極的な投資と財政健全化の二兎を追う財政運営に努めた結果、財政運営に関する県民の皆様との約束である「財政誘導目標」の 3 つの指標の達成に令和 8 年度予算で概ね見通しをつけることができた。

財政指標	R 8 年度当初予算後	数値目標
財政調整型基金残高	2 1 6 億円	2 0 0 億円以上 (R 8 年度)
実質的な県債残高 (※臨財債及び防災関連等の起債の 交付税措置額を除く)	3, 6 2 2 億円	3, 8 0 0 億円以下 (R 8 年度)
プライマリーバランス	1 1 億円の黒字	当初予算編成時での黒字化

2 予算案の概要（一般会計）

○予算規模：3,961億円（前年度当初予算：3,650億円、+310億円、+8.5%）

<主な増減>

【増要因】

地方消費税清算金・交付金+57.5億円、給与費+56.8億円、地域未来基金積立事業+50.0億円、臨時財政対策債償還基金費+39.9億円、退職手当+39.5億円、海洋練習船「若鳥丸」代船建造事業+17.1億円、学校給食費負担軽減事業+15.3億円、私立高等学校等就学支援金支給等事業+9.3億円、後期高齢者医療制度財政支援事業+8.5億円、子どものための教育・保育給付費県負担金+6.2億円、公債利子+6.0億円 など

【減要因】

災害公共▲14.9億円、鳥取県地域医療介護総合確保基金造成事業（介護分）▲14.4億円、公債元金▲9.1億円、新型コロナ克服特別金融支援事業▲7.9億円 など

○歳入

（単位：百万円、%）

区 分		R 8 年度	R 7 年度	比 較	
				金 額	変動率
予 算 規 模		396,087	365,049	+31,038	+ 8.5
主 な 一 般 財 源	県 税	62,282	60,564	+ 1,717	+ 2.8
	利子割清算金	317	-	+ 317	皆増
	地方消費税清算金	34,300	28,985	+ 5,314	+ 18.3
	地方譲与税	13,787	13,113	+ 674	+ 5.1
	地方特例交付金	3,591	300	+ 3,291	+1,096.9
	地方交付税	159,565	144,127	+15,438	+ 10.7
	県 債	30,168	28,713	+ 1,455	+ 5.1
	臨時財政対策債	0	0	0	-
	臨時財政対策債除き	30,168	28,713	+ 1,455	+ 5.1
	<再掲>地方交付税+臨時財政対策債	159,565	144,127	+15,438	+ 10.7
	<再掲>県税+利子割清算金+地方消費税清算金+地方譲与税+地方特例交付金+地方交付税+臨時財政対策債	273,841	247,090	+26,752	+ 10.8
	繰 越 金	2,000	2,000	0	0

※各項目において、表示単位未満を四捨五入しているため、各区分の数値と合計欄とが一致しない場合がある。

財政調整型基金の取崩し

（単位：百万円）

基金名	R 8 年度	R 7 年度	比 較	【参考】R 8 年度当初 予算後残高
財政調整基金	0	0	0	4,027
県立公共施設等建設基金	0	0	0	7,116
減債基金	6,000	6,000	0	4,328
大規模事業基金	0	0	0	3,630
長寿社会対策推進基金	0	0	0	2,500
計	6,000	6,000	0	21,602

※各項目において、表示単位未満を四捨五入しているため、各区分の数値と合計欄とが一致しない場合がある。

※R 8 年度当初予算後残高はR 8 年度中の運用利子を加味しない。

○歳 出

(単位：百万円、%)

区 分	R 8 年度	R 7 年度	比 較	
			金 額	変動率
予 算 規 模	396,087	365,049	+31,038	+ 8.5
一般事業	344,997	312,795	+32,202	+10.3
うち公債費	50,646	50,940	▲ 294	▲ 0.6
公共事業（災害除き）	45,347	45,019	+ 329	+ 0.7
（災害関係）	5,743	7,236	▲ 1,493	▲20.6

※各項目において、表示単位未満を四捨五入しているため、各区分の数値と合計欄とが一致しない場合がある。

ア 一般事業 3,450億円（前年度当初予算 3,128億円、+322億円、+10.3%）

① 「活力あふれる未来へ」

若者の県内就職・定着応援、関係人口増に向けた新たなメンバーシップの創設・二地域居住の推進、アンコンシャス・バイアス解消に向けた県民運動の展開、機動的な観光需要の創出、映画「遙かな町へ」と連携した誘客促進、サイクリスト誘客のための情報発信・環境整備、県営公衆Wi-Fiの拡大、とっとり産業クラスターの形成、海外新市場におけるビジネスネットワーク構築・需要獲得、戦略的リスクリングによる地域DX人材基盤の強化、農畜生産の継承者誘致、梨の生産拡大、県産木材の利用拡大、非住宅木材活用推進 など

② 「安心して暮らせるまちに」

「ぼうさいこくたい2026in鳥取」の開催、住宅・建築物の耐震化推進、大規模災害時における広域防災拠点の整備、渇水対策の推進、ツキノワグマ総合対策の実施、犯罪被害者への寄り添い支援、偽・誤情報からの県民保護、地域交通の維持・確保、ネイチャーポジティブの推進、GREEN×EXPO2027での魅力発信、老人福祉施設の長寿寿命化対策支援、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策、物価高等への支援 など

③ 「一人ひとりが輝く社会へ」

子育てを応援する社会づくりの推進、不妊治療費助成の拡充、プレコンセプションケア健診の拡充、県版アドボカシーの推進、地域を支える人材確保、大学と連携した教員確保対策、中山間地域医療確保の推進、学校給食費の負担軽減、県立学校の体育館空調・トイレ洋式化の推進、アートな鳥取の創出、青谷弥生犬の復元等による「とっとり弥生の王国」のブランディング強化、全国中学校体育大会の開催、ワールドマスタースゲームズ2027 関西鳥取県大会の開催準備 など

イ 公共事業（災害除き） 453億円（前年度当初予算 450億円、+ 3億円、+ 0.7%）
（災害関係） 57億円（前年度当初予算 72億円、▲15億円、▲20.6%）

① 令和8年度開通予定の「北条道路」（はわいIC～北条IC（仮称））をはじめとする高速道路ネットワークの整備進捗、北条倉吉道路（延伸）や江府道路などの地域高規格道路の整備進捗、「関金道路（仮称）」の新規事業化に向けたルート検討

② 通学路の交通安全対策、河川改修や土砂災害防止対策などの防災・減災対策

③ イワガキ増殖場等の水産基盤整備、農地の大区画化等の基盤整備 など

【参考：地方消費税収と社会保障関係費について】

<歳入>

- ・ 引上げ分（５％→１０％）の地方消費税収（市町村交付金交付後） ９０．１億円

<歳出>

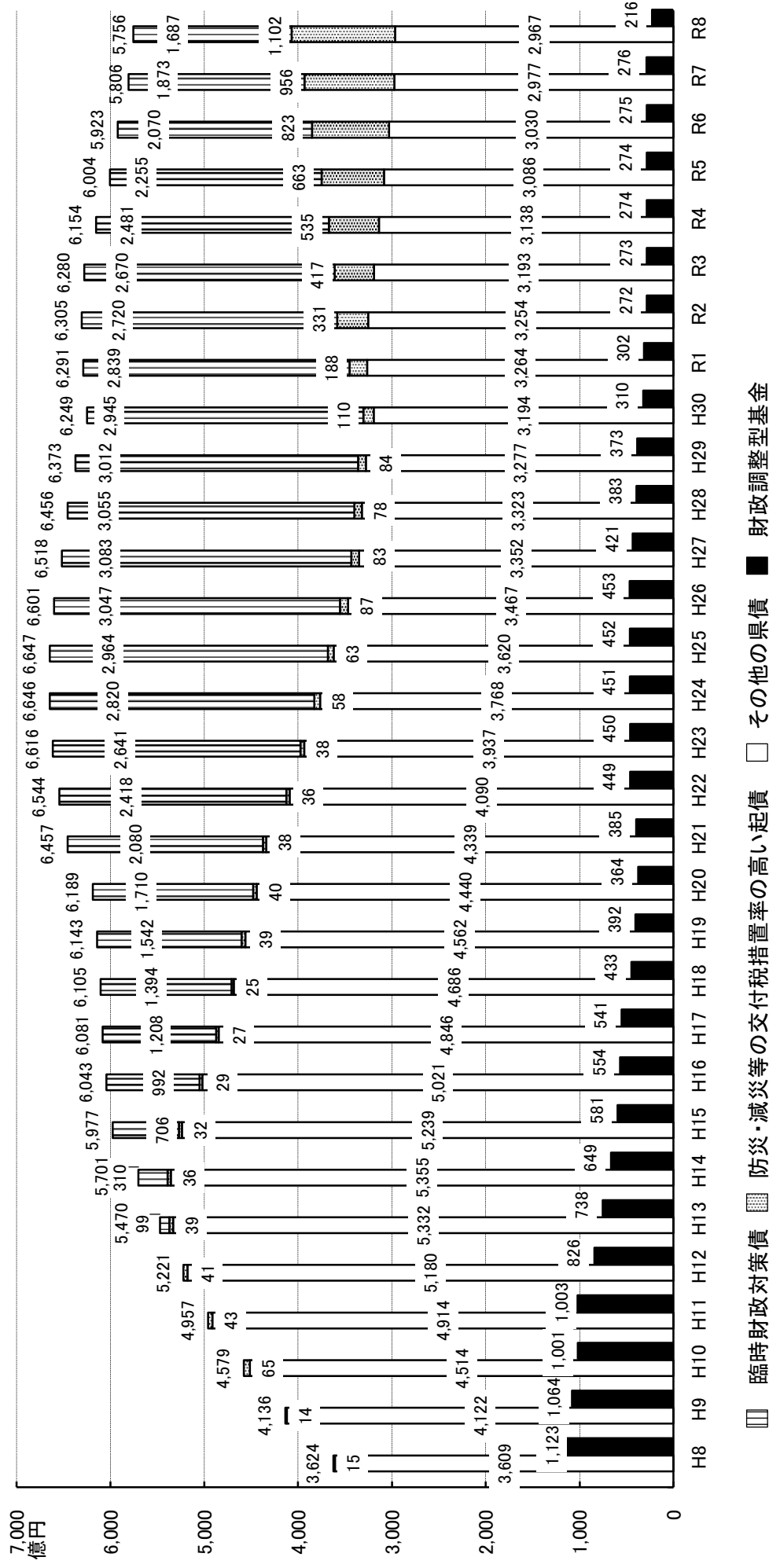
- ・ 社会保障関係費 ５９９．７億円（うち一般財源５０１．８億円）

（単位：億円）

社会保障関係費	Ｒ８年度 当初予算	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
社会福祉（障がい者、高齢者、児童等）	２６１．２	４３．４	１８．５	１９９．３
社会保険（介護保険、国保）	１４６．０	０．２	０．１	１４５．７
保健衛生（医療施策、健康増進等）	１９２．５	２４．５	１１．２	１５６．８
合 計	５９９．７	６８．０	２９．８	５０１．８

※各項目において、表示単位未満を四捨五入しているため、各区分の数値と合計欄とが一致しない場合がある。

県債・基金残高の推移



令和6年度までは決算、令和7年度は2月補正後決算見込、令和8年度は当初予算後
(各項目において、表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の数値の計と合計とが一致しない場合がある。)